学校を支え、想いを背負う！ ～最高学年として挑む運動会～



運動会を支える影の主役たち ～係活動・応援団・代表リレー～

競技以外でも高学年が大活躍します。学校全体を動かす責任感を持って励む「係活動」、ダンス表現を取り入れ自主練習を重ねた「応援団」、互いにバトンパスを工夫し合う高学年限定の「代表リレー」。一人ひとりが自分たちの手で運動会を作り上げています。



チームの工夫と絆が光る「ローハイド」と「集団行動」

今年度は、各色４～５人で騎馬を組んで前進し、その先の的を紐付きボールで当ててつなぐ「ローハイド」に挑戦します。安全面に配慮しつつ高学年らしい迫力を出せるよう、組み方を工夫して練習に励んできました。さらに、一糸乱れぬ美しさを目指す「集団行動」にも挑戦。声を掛け合いながら、チームの絆を深めています。

伝統を受け継ぎ、未来へつなぐ「300 人のソーラン節」



今年度から５・６年合同となり、総勢 300 人での演舞へ。「昨年の６年生が教えてくれたように」と、今度は６年生が５年生へ振りを丁寧に伝授し、稲田小の伝統を引き継ぎました。「ソーラン賞」を目指して切磋琢磨した、圧巻の踊りは必見です。





想いを背負う「法被（ハッピ）」と「大旗」



背中の「漢字一文字」には各自の想いを、前裾には「クラスの決意」を込めました。昨年の６年生から受け継いだ大旗とともに、細部までこだわりが詰まっています。運動会の練習を通して、仲間と声を掛け合い、伝統や責任を背負いながら一歩ずつ力強く成長してきました。自分の役割を果たし切った経験と、学年を超えて深めた絆は、これからの学校生活を支える大きな自信となっていくと思います。



